



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シャルレ
 コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥平 和良
 (氏名) 岩永 信幸

TEL 078-792-8565

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,656	△3.0	95	△69.9	103	△68.1	98	△57.9
24年3月期第1四半期	4,800	△10.2	317	△24.7	324	△24.0	233	△56.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 176百万円 (△35.0%) 24年3月期第1四半期 271百万円 (△51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.13	—
24年3月期第1四半期	12.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	22,646	19,266	85.1	1,005.26
24年3月期	23,999	19,665	81.9	1,026.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 19,266百万円 24年3月期 19,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	△6.1	430	△35.2	450	△34.1	430	△26.0	22.44
通期	22,290	△2.7	1,320	0.8	1,350	0.2	1,250	17.4	65.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	21,034,950 株	24年3月期	21,034,950 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,868,919 株	24年3月期	1,868,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	19,166,031 株	24年3月期1Q	19,376,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から脱しつつあるものの、欧州の金融危機による長期に渡る円高やデフレの影響を受け、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

このような環境のもと、当社企業グループは、人々の日々の生活に新たな『豊かさの基準』を提供する企業集団として、国内レディースインナー等販売事業を中心に積極的に事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は46億56百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益は95百万円（同69.9%減）、経常利益は1億3百万円（同68.1%減）、四半期純利益は98百万円（同57.9%減）となりました。

(国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、“毎日のくらしに「心おどる感動」と「心やすらぐ安心」を。”を長期的なビジョンに掲げ、「美と健康のシャルレ」として、研究開発機能の強化によって、高い機能性と独自性のある商品の開発と提供に取り組んでまいりました。また、営業・販売面においては、新規顧客とビジネスメンバーの創造を戦略方針に掲げ、各種キャンペーン等を行ってまいりました。

商品面におきましては、前期に引き続き、健康関連分野の商品の拡充を図りました。4月には、ウォーキング等の軽運動に適した商品として「サポートウォーク ウェア」の春夏用商品を発売し、涼しさと動きやすさを追求した機能面だけでなく、デザイン面でも高評価を得て、好調な売上となりました。6月には、膝にかかる負担を軽減し、歩行をサポートする「ひざサポウォーカー」にメッシュ素材を使用した夏仕様の商品を発売し、お客様のご要望にお応えすることができました。

従来からの主力商品として強みを持つ、肌着・ショーツ類においては、4月に手頃な価格でありながら、夏用インナーとして吸汗・速乾に優れた機能を持つ「デイリークール」を発売いたしました。また、ナイティ・Tシャツ類においては、6月にはカットソーとジレ、また、盛夏対策としてガーゼ素材のナイティ（紳士・婦人）を発売いたしました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第29回シャルレ代理店セミナー」を実施し、経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上に繋げました。また、4月～6月に各種新メイトの育成キャンペーンを実施し、試着会の推進やご紹介いただいたお客様へのプレゼント進呈により、新規登録メイト数が前年を上回りました。

また、化粧品につきましては、4月に基礎化粧品ブランド「エタリテ」、6月にヘアケア・ボディーケアブランド「シャルエーゼ」の販促キャンペーンを実施いたしました。

このように、積極的な事業展開を行ってまいりましたが、定番商品の不振等により、国内レディースインナー等販売事業の売上高は45億38百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益は2億8百万円（同54.7%減）となりました。

(海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を上海の旗艦店を中心に、13店舗で行ってまいりました。また、現地の消費者ニーズを反映した新商品の開発・販売、および現地販売スタッフの教育強化に積極的に取り組んでまいりました。販売面では各店舗による販促キャンペーンを積極的に実施したことにより、売上高は好調に推移いたしました。一方利益面では、店舗単位による利益率の向上に努めたものの、現地の本部経費等を吸収するまでには至りませんでした。

これらの結果、売上高は35百万円（同13.3%増）、営業損失は22百万円（前年同四半期は23百万円の営業損失）となりました。

(LED照明販売事業)

LED照明販売事業におきましては、省エネ志向の高まりや、電力供給不足の不安要因が社会的な問題となる中、省電力のLED照明器具の注目度はさらに増し、消費者からの需要も旺盛な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、商品ラインナップ強化と、節電効果の高い大規模施設等に対する積極的な営業活動を行い、販売代理店に対する売上高も順調に推移いたしました。

しかしながら、前年同四半期に特別価格による拡販キャンペーンを実施した影響等により、売上高は前年実績を下回ることとなりました。利益面では、管理体制の強化により、売上総利益率が改善し、販管費も減少しましたが、営業損失の解消には至りませんでした。

これらの結果、売上高は82百万円（同41.5%減）、営業損失は34百万円（前年同四半期は72百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金の減少8億78百万円、有価証券の減少2億99百万円等により、前連結会計年度末に比べ13億52百万円減少して226億46百万円となりました。

負債は、未払金の減少8億42百万円、賞与引当金の減少1億96百万円等により、前連結会計年度末に比べ9億54百万円減少して33億79百万円となりました。

純資産は、四半期純利益98百万円、利益配当金5億74百万円等により、前連結会計年度末と比較して3億98百万円減少し、192億66百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.9%から85.1%に上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法について、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、定額法が固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,661	7,783
受取手形及び売掛金	190	165
有価証券	2,408	2,108
商品	4,358	4,286
貯蔵品	68	56
繰延税金資産	549	549
その他	294	162
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	16,522	15,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,575	1,551
土地	907	907
その他（純額）	296	417
有形固定資産合計	2,780	2,877
無形固定資産		
その他	514	490
無形固定資産合計	514	490
投資その他の資産		
投資有価証券	2,216	2,270
前払年金費用	830	802
繰延税金資産	387	387
その他	760	727
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	4,182	4,175
固定資産合計	7,476	7,543
資産合計	23,999	22,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829	744
未払金	1,836	993
未払法人税等	20	10
賞与引当金	381	185
その他	180	443
流動負債合計	3,247	2,377
固定負債		
売上割戻引当金	213	215
退職給付引当金	496	478
長期未払金	376	198
その他	—	109
固定負債合計	1,086	1,001
負債合計	4,333	3,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,945	12,469
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	20,148	19,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△415	△358
為替換算調整勘定	△67	△46
その他の包括利益累計額合計	△483	△405
純資産合計	19,665	19,266
負債純資産合計	23,999	22,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,800	4,656
売上原価	2,248	2,330
売上総利益	2,551	2,326
販売費及び一般管理費	2,234	2,230
営業利益	317	95
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	0	0
雑収入	6	6
営業外収益合計	12	13
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	1	3
為替差損	2	1
社宅解約損	1	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	324	103
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	—	0
災害による損失	85	—
特別損失合計	87	2
税金等調整前四半期純利益	237	101
法人税、住民税及び事業税	4	3
法人税等合計	4	3
少数株主損益調整前四半期純利益	233	98
四半期純利益	233	98

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233	98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	57
為替換算調整勘定	4	12
持分法適用会社に対する持分相当額	4	7
その他の包括利益合計	37	77
四半期包括利益	271	176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	271	176
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内レ ディース インナー 等 販売事業	海外レ ディース インナー 等 販売事業	LED 照明販売 事業	情報サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,625	31	141	1	4,800	—	4,800	—	4,800
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	—	—	—	2	—	2	△2	—
計	4,628	31	141	1	4,803	—	4,803	△2	4,800
セグメント利益又 は損失(△)	460	△23	△72	△21	342	△0	342	△24	317

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用24百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース スインナー等 販売事業	海外レディース スインナー等 販売事業	LED照明 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,538	35	82	4,656	—	4,656
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7	—	—	7	△7	—
計	4,546	35	82	4,664	△7	4,656
セグメント利益又は 損失（△）	208	△22	△34	151	△55	95

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用55百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更）

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「情報サービス事業」を廃止しております。

これは、情報サービス事業を営む株式会社エヌ・エル・シー コーポレーションを平成24年3月30日付で外部に譲渡したことによるものであります。

これにより、当第1四半期連結会計期間より「国内レディーススインナー等販売事業」、「海外レディーススインナー等販売事業」、「LED照明販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

（減価償却方法の変更）

会計方針の変更等に記載のとおり、当社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法について、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、定額法が固定資産の使用実態に即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、「国内レディーススインナー等販売事業」で28百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。